

# シロウマノガリヤス

イネ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

*Calamagrostis fauriei* Hack. var. *intermedia* T. Shimizu

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

高山の湿生草地に生育環境に限られる。(現況:RO)

## 分 布

白山高地区。

## 危険要因

温暖化の進行にともなう自然遷移。また、中生～乾生草地に生えるヒゲノガリヤスとのすみわけはみられるものの、交雑の進行による遺伝子汚染の影響が懸念される。

## 特記事項

東北地方～新潟県中部に分布する基本変種のカニツリノガリヤスに似るが、小軸突起が伸びない。カニツリノガリヤスとヒゲノガリヤスとの浸透性交雑により生じたと考えられ、ヒゲノガリヤスとの間に形態的な連続がみられる。ヒゲノガリヤスの変種として記載されたオオヒゲガリヤスに含める考え方もある。  
清水建美.1983. 原色新日本高山植物図鑑Ⅱ. 保育社.

写真（図）はありません。